

株式会社日新 2016年3月期 第2四半期決算説明会

～前期比増収増益 営業利益4割増
中期経営計画は計画通り達成へ～



証券コード: 9066

2015年11月26日

本日 お伝えしたいこと

決算報告

- 第2四半期は増収増益、営業利益は前期比4割増
- ほぼ計画通りで推移
- 3期連続2桁増益を目指す

中期経営計画

- 最終年度は計画通り推移の見込み

目 次

- 事業と顧客の構成 P.4
- 2016年3月期第2四半期までの振り返り P.9
- 2016年3月期通期計画達成に向けて P.13
- 中期経営計画の進捗状況 P.18
- 補足資料 P.25

事業と顧客の構成

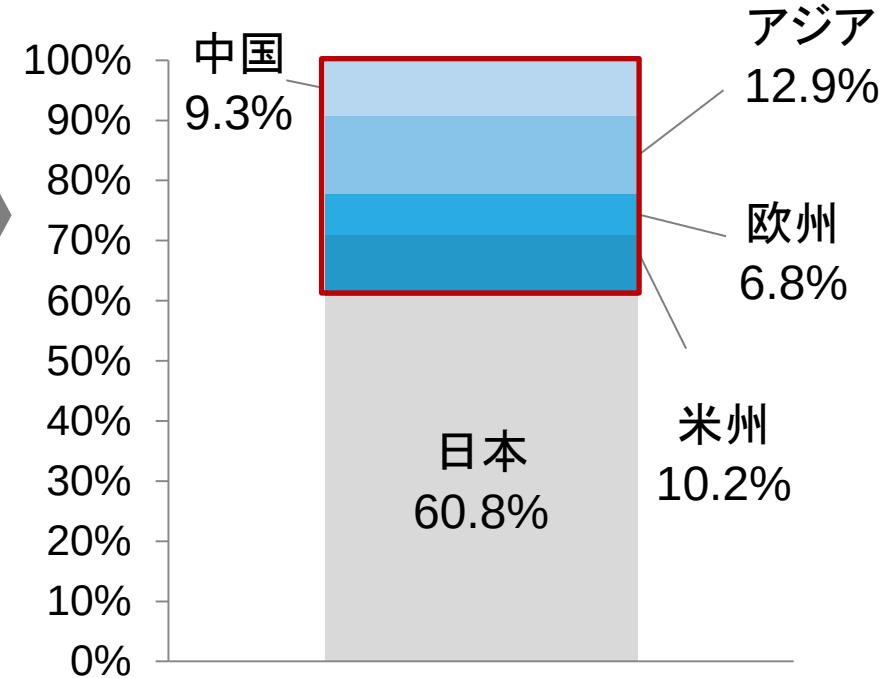
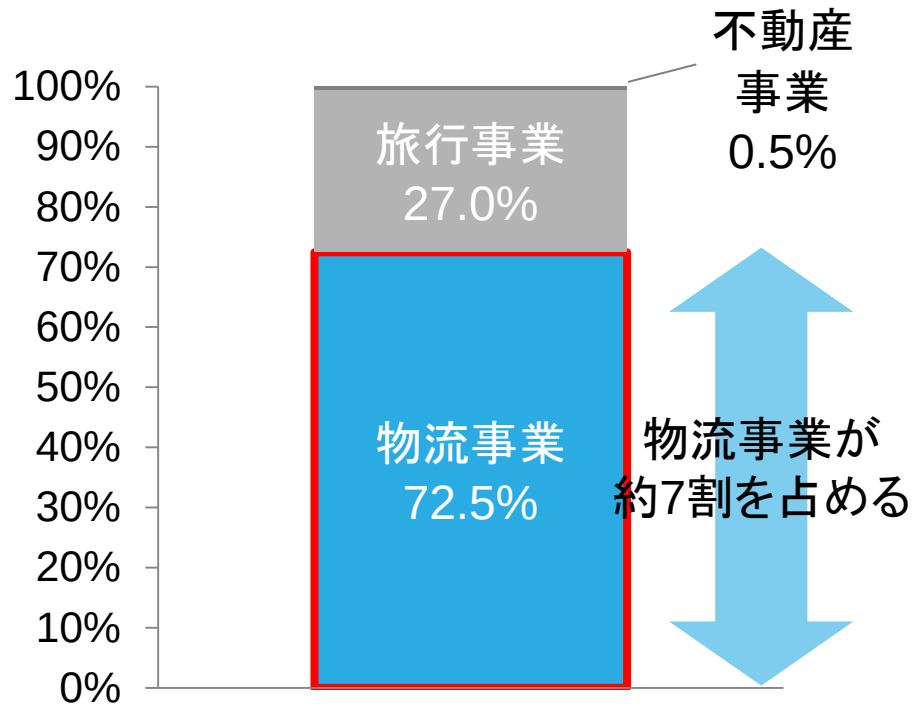
~国際物流を中心に 幅広い顧客層を有する~

事業構成

- 物流事業のうち、海外現地法人の売上が約4割を占める

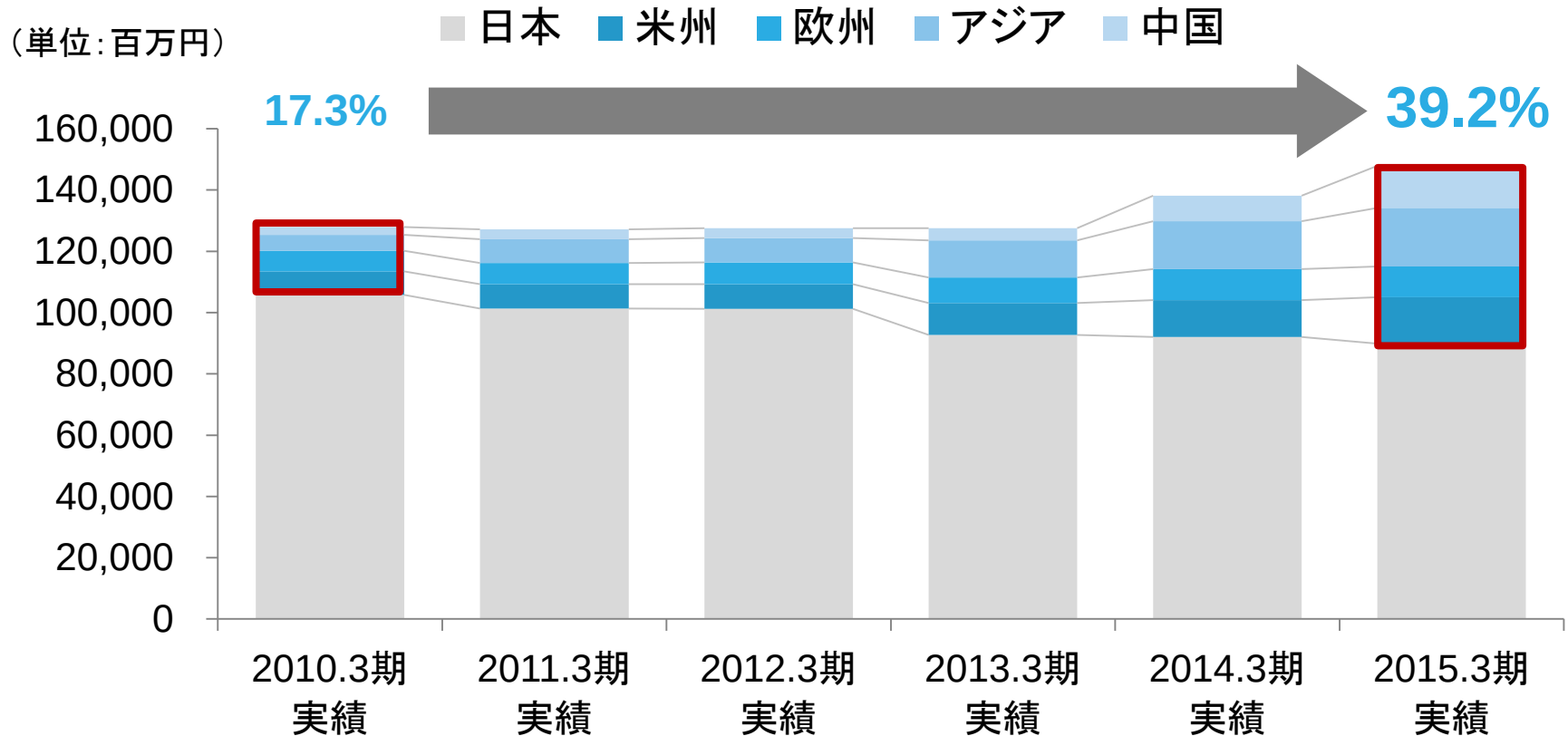
連結売上高(2015年3月期)

地域別売上高(2015年3月期)



地域別売上高の推移（物流事業）

- 物流事業のうち海外現地法人の売上高が拡大
- アジア、米州を中心に更なる拡大を目指す



事業・顧客状況（売上高構成）

事業状況

	航空	海上	倉庫・ 他	合計
日本 (単体)	15%	50%	35%	100%
米州	41%	31%	28%	100%
欧州	32%	23%	45%	100%
アジア	35%	40%	25%	100%
中国	40%	45%	15%	100%

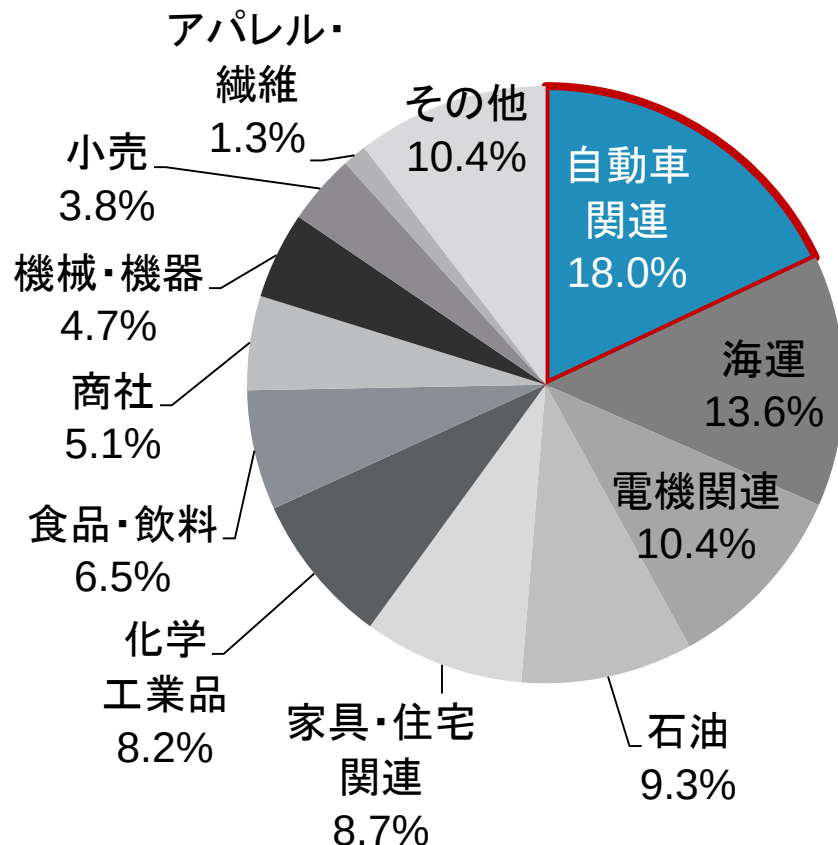
顧客状況

	自動車	電機 電子	一般・ 他	合計
日本 (単体 上位100社)	18%	10%	72%	100%
米州	51%	12%	37%	100%
欧州	27%	32%	41%	100%
アジア	49%	7%	44%	100%
中国	9%	24%	67%	100%

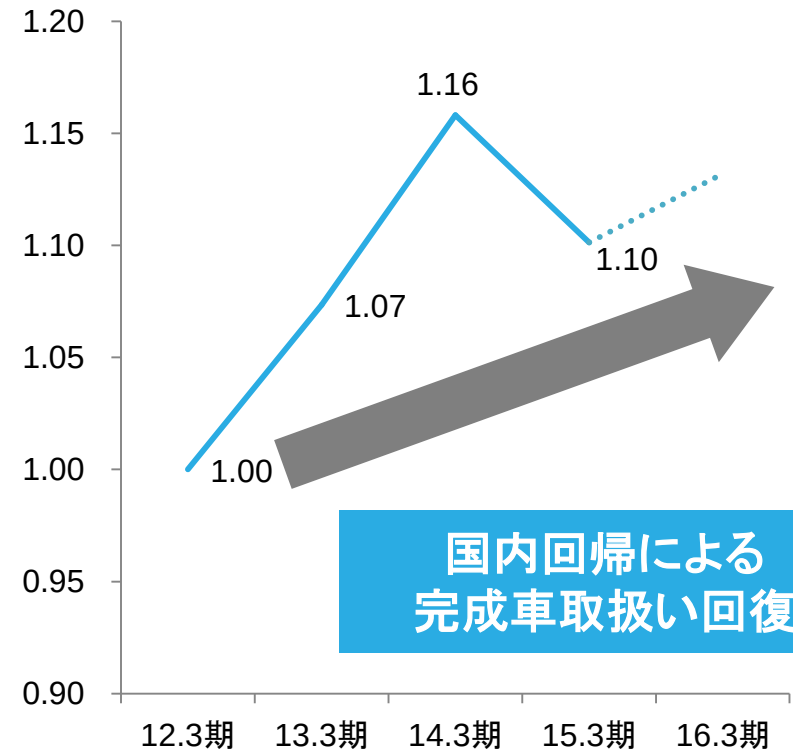
顧客構成 - 自動車メーカーを主軸に幅広い顧客-

- 自動車関連の売上高は現在、約2割を占め、拡大傾向にある
- 15.3期は完成車輸出取扱いの低下により伸び悩んだものの、16.3期第2四半期以降完成車輸出取扱いが回復の見込み

2015年3月期 売上高上位100社(単体)



自動車関連顧客の売上高推移



国内回帰による
完成車取扱い回復

2012年3月期売上高を1.00とする

2016年3月期
第2四半期までの振り返り
~前期比増収増益、営業利益4割増~

第2四半期連結損益計算書サマリー

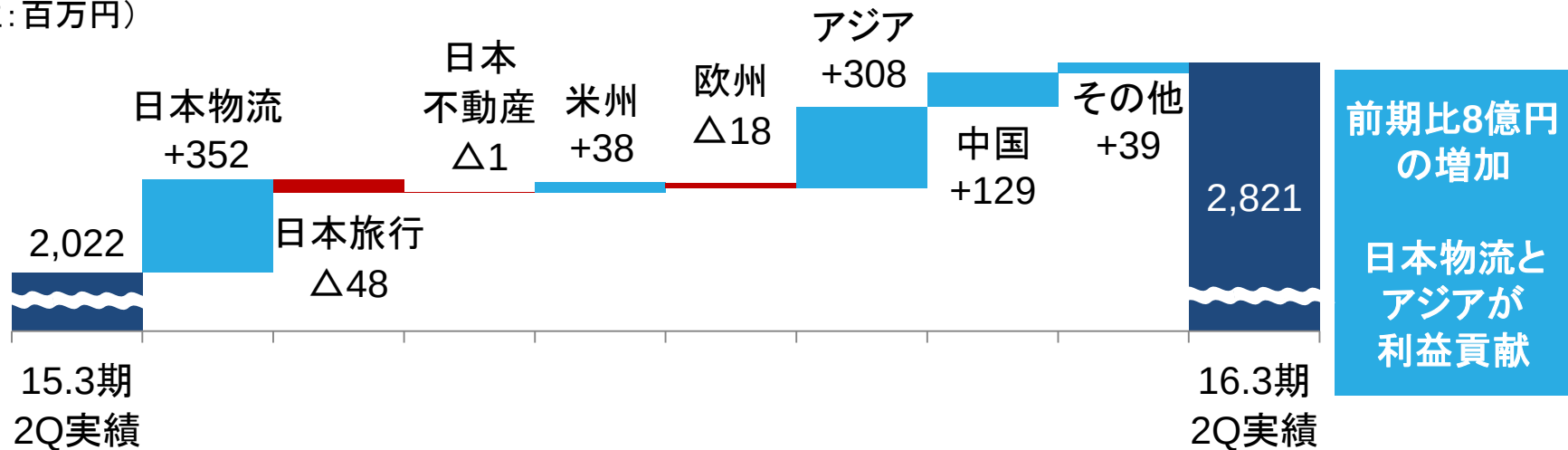
- 前期比増収増益、営業利益4割増を達成
- 計画対比では、売上高が若干下回ったものの、利益は計画通り推移

単位: 百万円	15.3期 第2四半期 実績	16.3期 第2四半期 計画	16.3期 第2四半期 実績	前期比	計画比	通期計画 進捗率
売上高	100,073	107,000	103,551	103.5%	96.8%	48.6%
営業利益	2,022	2,700	2,821	139.5%	104.5%	52.2%
経常利益	2,028	2,800	2,957	145.8%	105.6%	52.8%
当期利益	835	1,800	1,954	233.9%	108.6%	75.1%

2016年3月期第2四半期営業利益の増減要因分析

- 日本物流は、倉庫稼働率が高水準、ターミナル業務で大型船新規航路の受注、人件費・経費減少
- アジアは、タイを中心に自動車関連部品輸出が好調、インドネシア2現地法人を連結子会社化

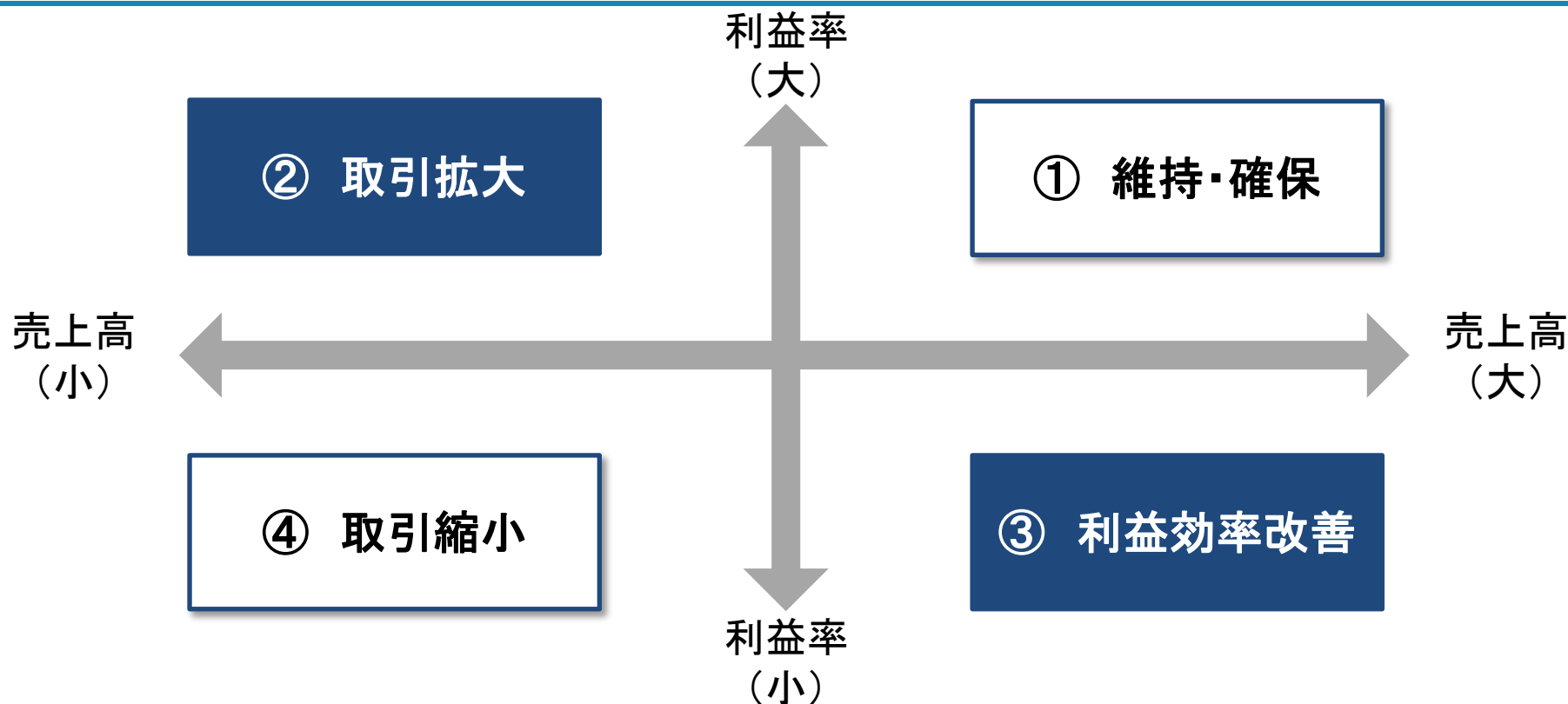
(単位:百万円)



日本物流	倉庫稼働率高水準で推移、ターミナル業務で大型船新規航路の受注、人件費・経費減少効果で利益押し上げ
米州・欧州	米州は西岸港湾混乱の影響を受けるも自動車関連順調、欧州は電機電子関連低調
アジア	タイ、フィリピン、インドネシア等において自動車関連を中心に輸出好調、インドネシア日新、ジャヤ・インドネシア連結子会社化
中国	電機電子を中心に好調、新規倉庫業務が寄与

顧客別採算レベルを再確認

- 売上高と利益率によって取引方針を検討。今年4月より、収益率の改善に向けて、採算レベルの見直しに取り組み中
- 利益効率向上を図る



2016年3月期
通期計画達成に向けて
～自動車関連好調
3期連続2桁増益を目指す～

2016年3月期決算 計画の前提

地域別の 動向 顧客別の 動向	アジア		米州 (アメリカ、メキシコ)		中国		日本	
	期初の前提	現状	期初の前提	現状	期初の前提	現状	期初の前提	現状
自動車関連	部品輸出 順調	順調	- 部品物流、 米中西部 好調 - 墨拠点増 - 米墨間 輸送拡大	順調			- 完成車輸 出入拡大 - 新規顧客 取扱拡大 - 部品輸入 拡大	好調
化学品関連	潤滑油 輸出好調	好調					- 潤滑油 輸出好調 継続 - ISOタンク コンテナ取 扱本格化	- 潤滑油 好調 - ISOタンク コンテナ 取扱は若 干遅れ
その他			食品関連 輸出増加	好調	- 日中貿易 回復基調 - DC業務 増加 - 中国経済 減速懸念	- 日中貿易 減少 - DC業務 好調 - 減速懸念	- 南本牧 ターミナル での取扱 拡大 - 中国船の 取扱物量 増加	- 好調 - 中国船の 取扱物量 は伸び悩 み

為替 1\$=¥119.96、EUR=¥134.97 (2015年9月30日現在)

【為替換算差(営業利益段階)】 米ドル、ユーロは1円の変動で、17百万円の影響

2016年3月期連結損益計算書サマリー

- 増収増益、営業利益15.8%増益、3年連続の2桁増益を目指す

単位: 百万円	15.3期 実績	16.3期 計画	増減額	前期比
売上高	204,461	213,000	8,539	104.2%
営業利益	4,664	5,400	736	115.8%
経常利益	5,135	5,600	465	109.0%
当期利益	2,447	2,600	153	106.2%

* 英国子会社が加入している、確定給付型企业年金からの脱退一時金を特別損失として見込む

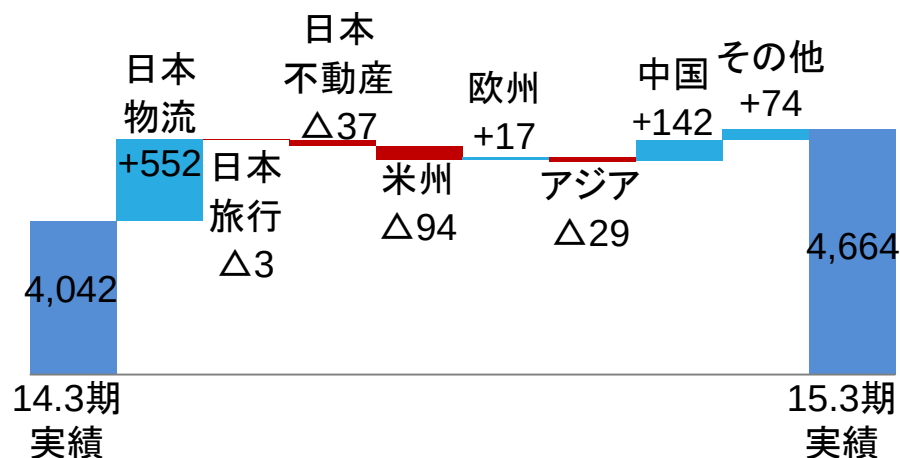
* 8月にマラッカ倉庫で火災発生。損害額については調査中。業績への影響は不明のため織り込まず

2016年3月期営業利益の増減要因分析

- 自動車関連物流が好調に推移する見込み
- アジアは、インドネシア日新フル連結化。また旅行は、円安による現地コスト増

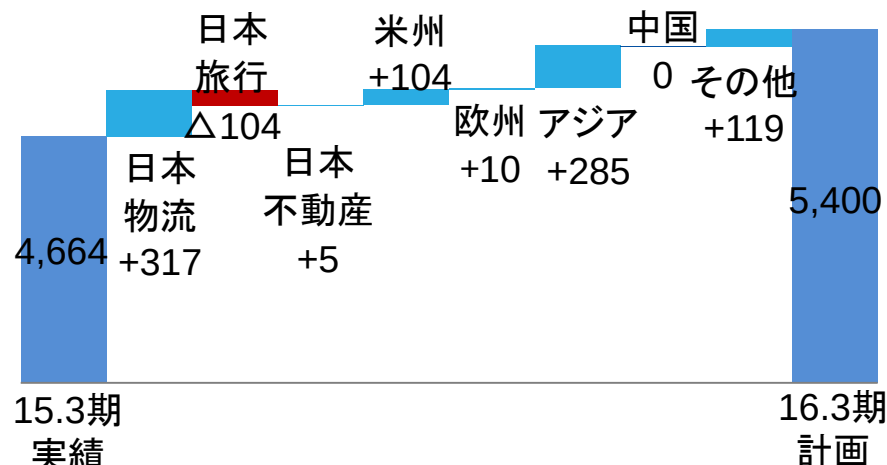
2015年3月期実績

(単位:百万円)



2016年3月期計画

(単位:百万円)



日本	日本物流は完成車の輸出業務拡大、日本旅行は円安による現地コスト増
米州	自動車順調、食品関連輸出増加
欧州	新規顧客獲得(家具関連保管業務等)
アジア	自動車好調、生活関連原材料好調、インドネシア日新を新規連結化、ジャヤ・インドネシアをフル連結化
中国	電機電子関連堅調、前年並み

2016年3月期の重点施策

- Keywordは、「広げる」、「進める」、「動かす」。今年は実現を果たすステージに

重点施策	下期の Keyword	具体的取組み
海外事業	広げる	■ 米国中西部の部品保管の取扱拡大
		■ 新規顧客の取り込みによる裾野の拡大
		■ タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、インド、米国、メキシコ、中国
国内事業	進める	■ 完成車の輸出業務の拡大
		■ 食品、医療、危険品業務の拡大
		■ 陸上輸送業務の効率化への取組み
経営基盤	動かす	■ 海外人材育成
		■ 老朽施設、遊休資産の有効活用に向けた取組み
		■ 監査等委員会設置会社への移行によるガバナンス体制の強化

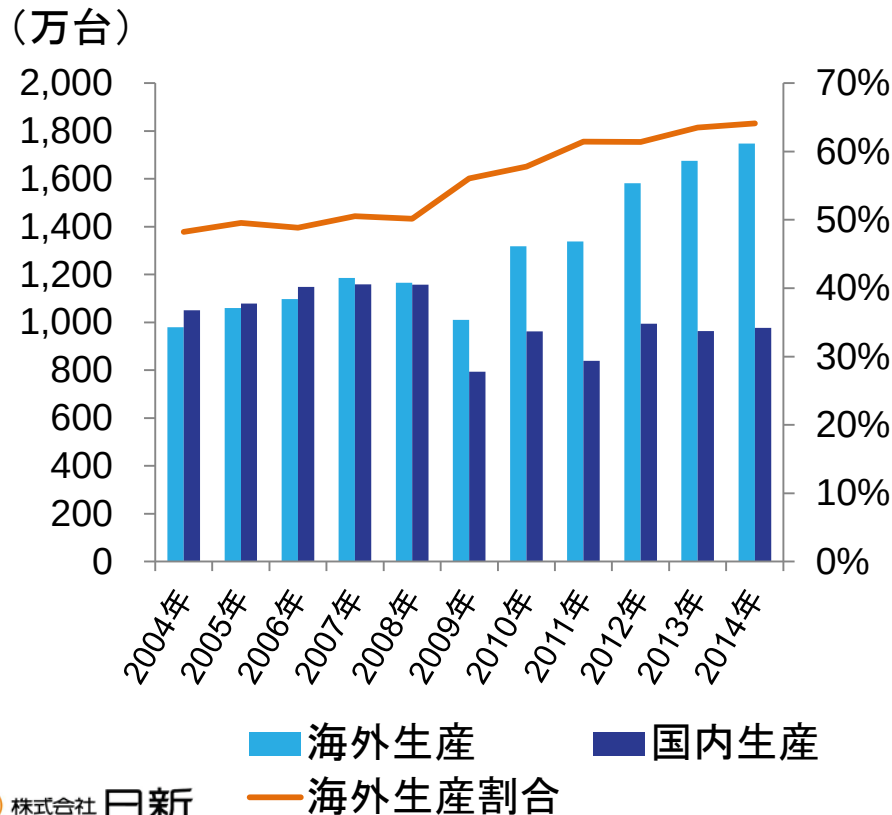
中期経営計画の進捗状況

～自動車関連を追い風に 計画通り推移～

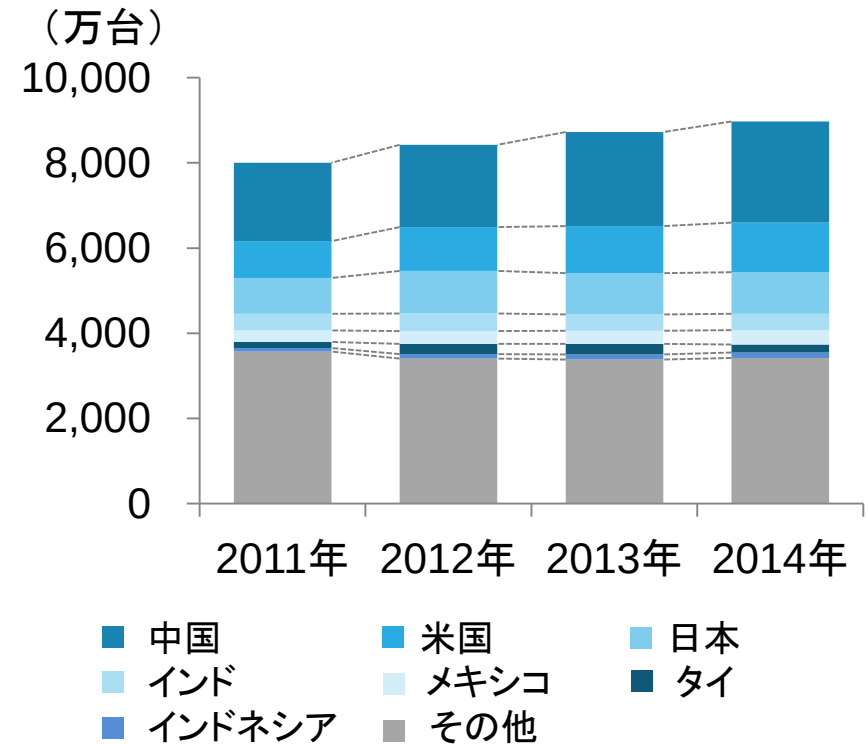
外部環境 -顧客メーカー拠点の海外移転-

- 国内自動車メーカーの海外生産比率は上昇し、海外での自動車生産台数は右肩上り
- 海外市場における自動車関連物流取り込みの必要性

国内メーカーの自動車海外生産比率推移



世界各国における自動車生産台数の推移

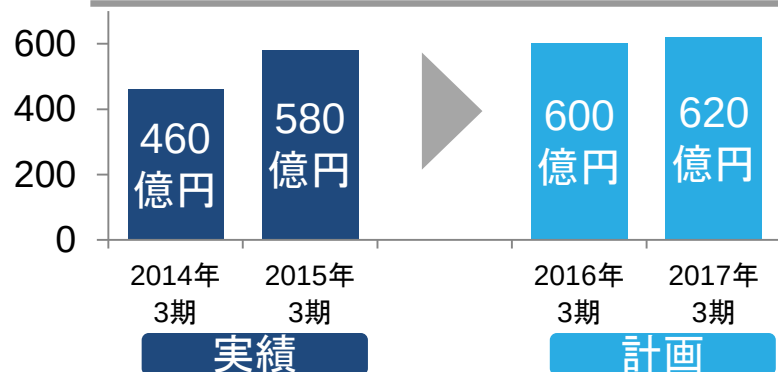


出典:一般社団法人 日本自動車工業会 資料

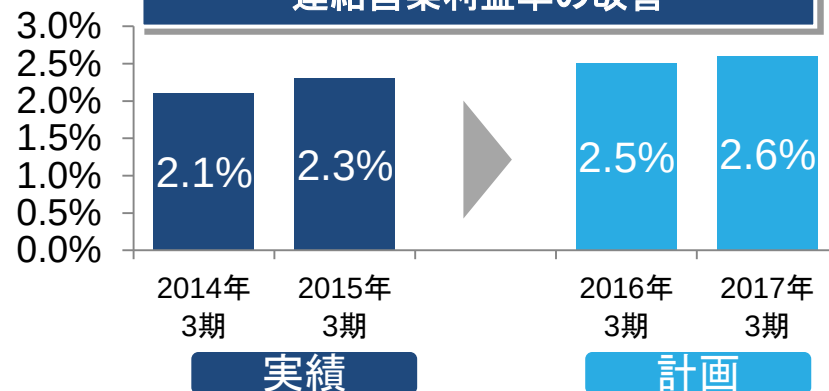
中期経営計画(2015年3月期~2017年3月期)

■ 中期経営計画最終年度は計画通りの推移を見込む

海外現地法人の売上高拡大



連結営業利益率の改善

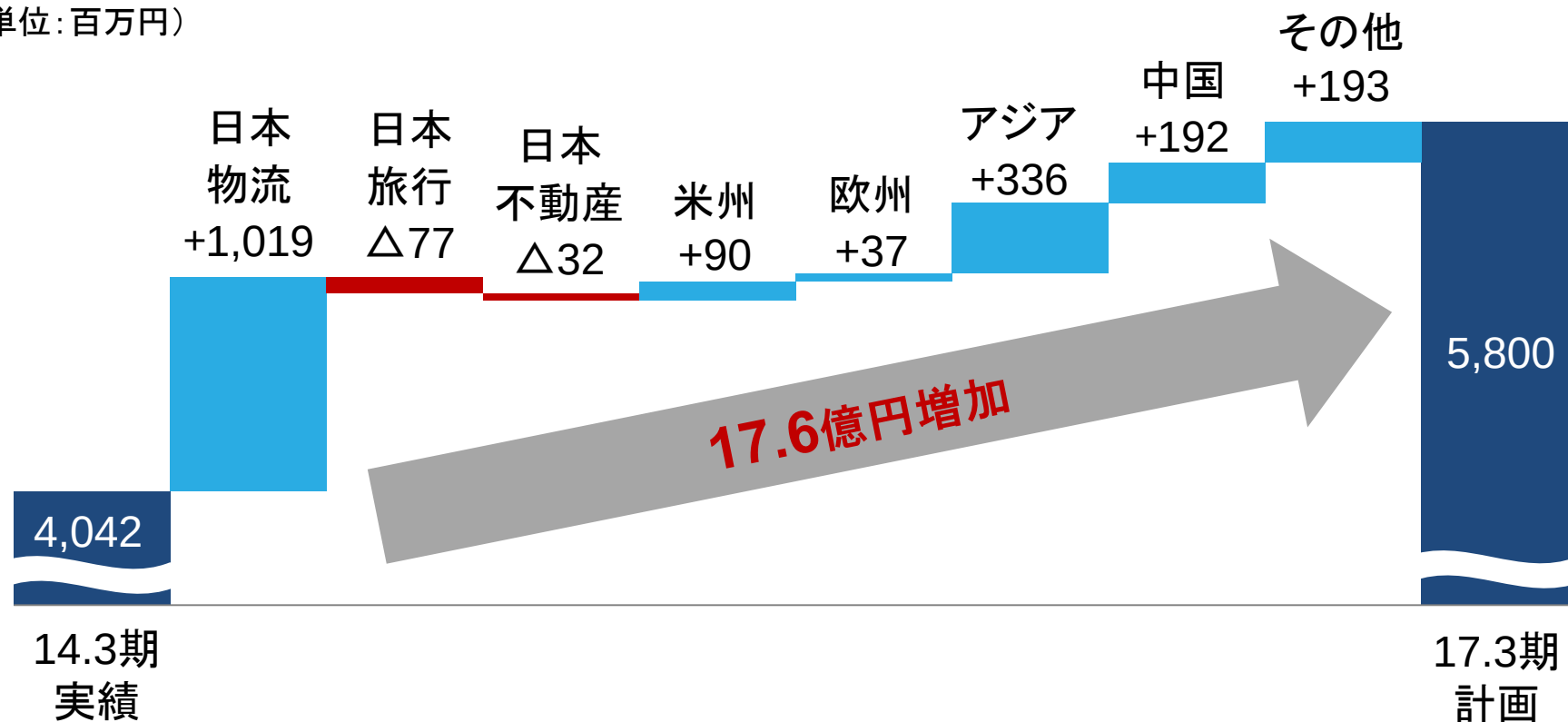


(単位: 百万円)	2014年3月期 実績	第5次中期経営計画			
		2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	
		実績	計画	計画	2014年3月期比
売上高	193,709	204,461	213,000	220,000	113.6%
営業利益	4,042	4,664	5,400	5,800	143.5%
経常利益	4,681	5,135	5,600	6,000	128.2%
当期純利益	2,624	2,447	2,600	4,000	152.4%
営業利益率	2.1%	2.3%	2.5%	2.6%	—
ROE	6.1%	5.1%	5.1%	7.5%	—

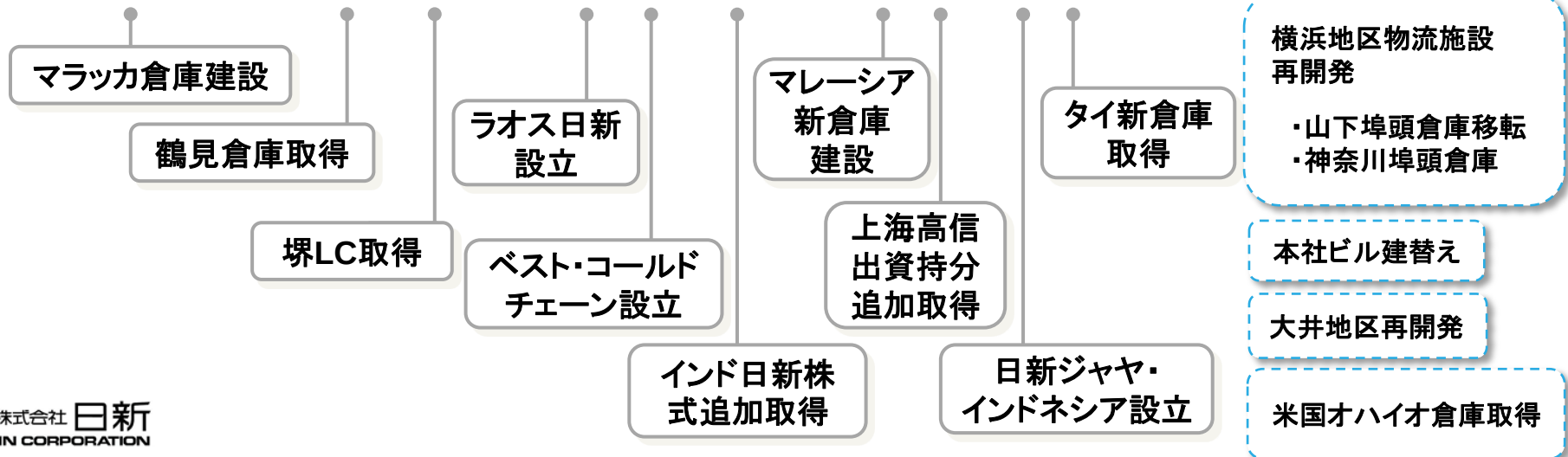
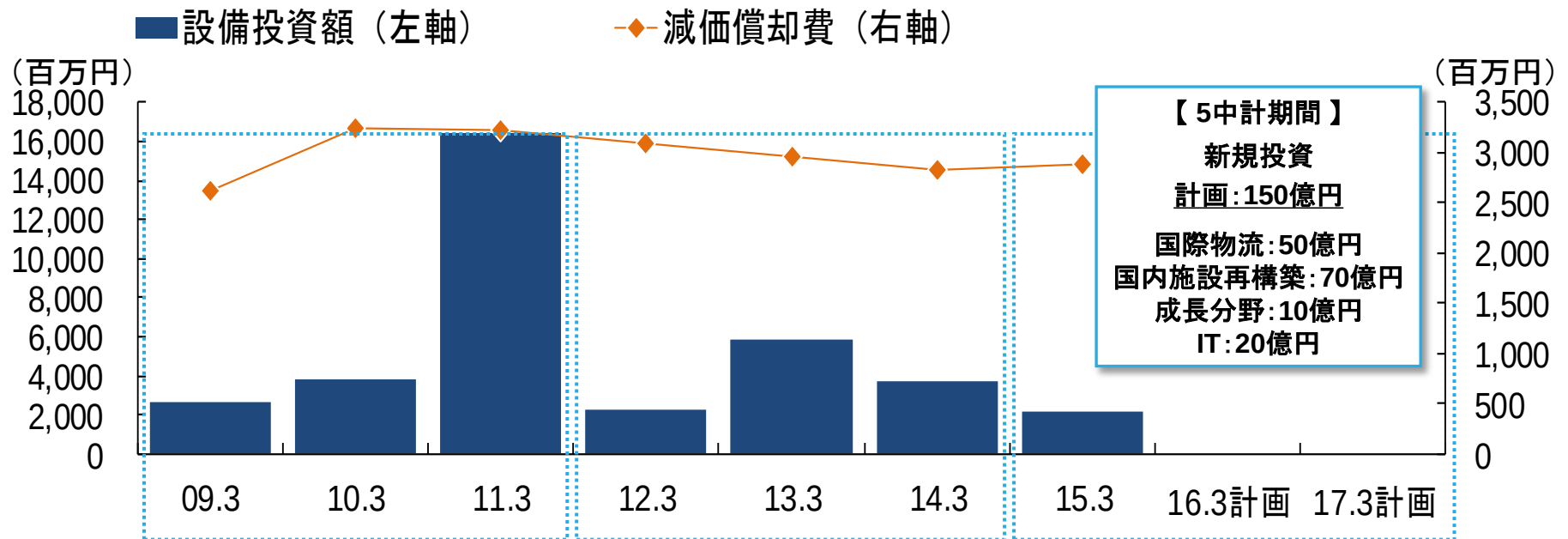
第5次中期経営計画3力年での営業利益推移

- 3力年で営業利益17.6億円増益を目指す
- 自動車関連物流を軸に海外事業の強化・拡大を加速

(単位:百万円)

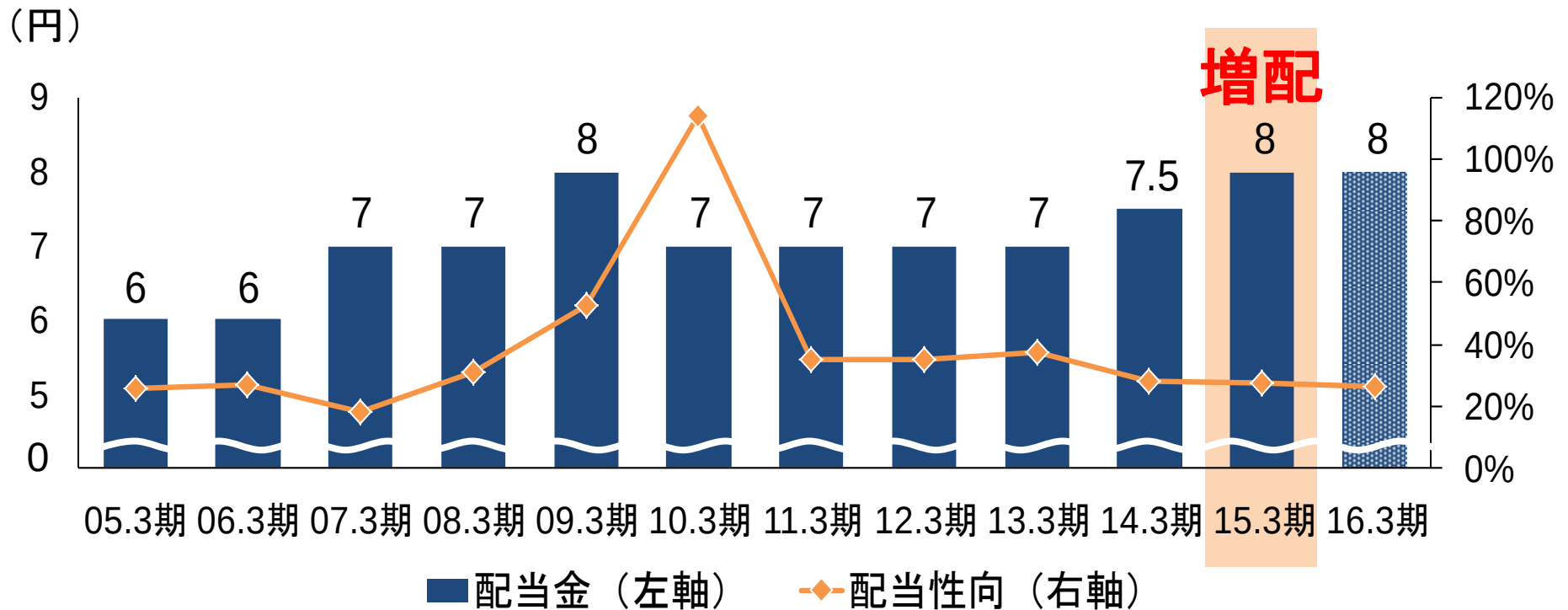


投資および減価償却費の推移



配当政策

■ 安定的配当の継続を基本



※2009年3月期は当社設立70周年記念増配

本日のまとめ

第2四半期 実績

- 第2四半期実績は、前期比増収増益、営業利益4割増

通期計画

- 自動車関連好調。3期連続2桁増益を目指す

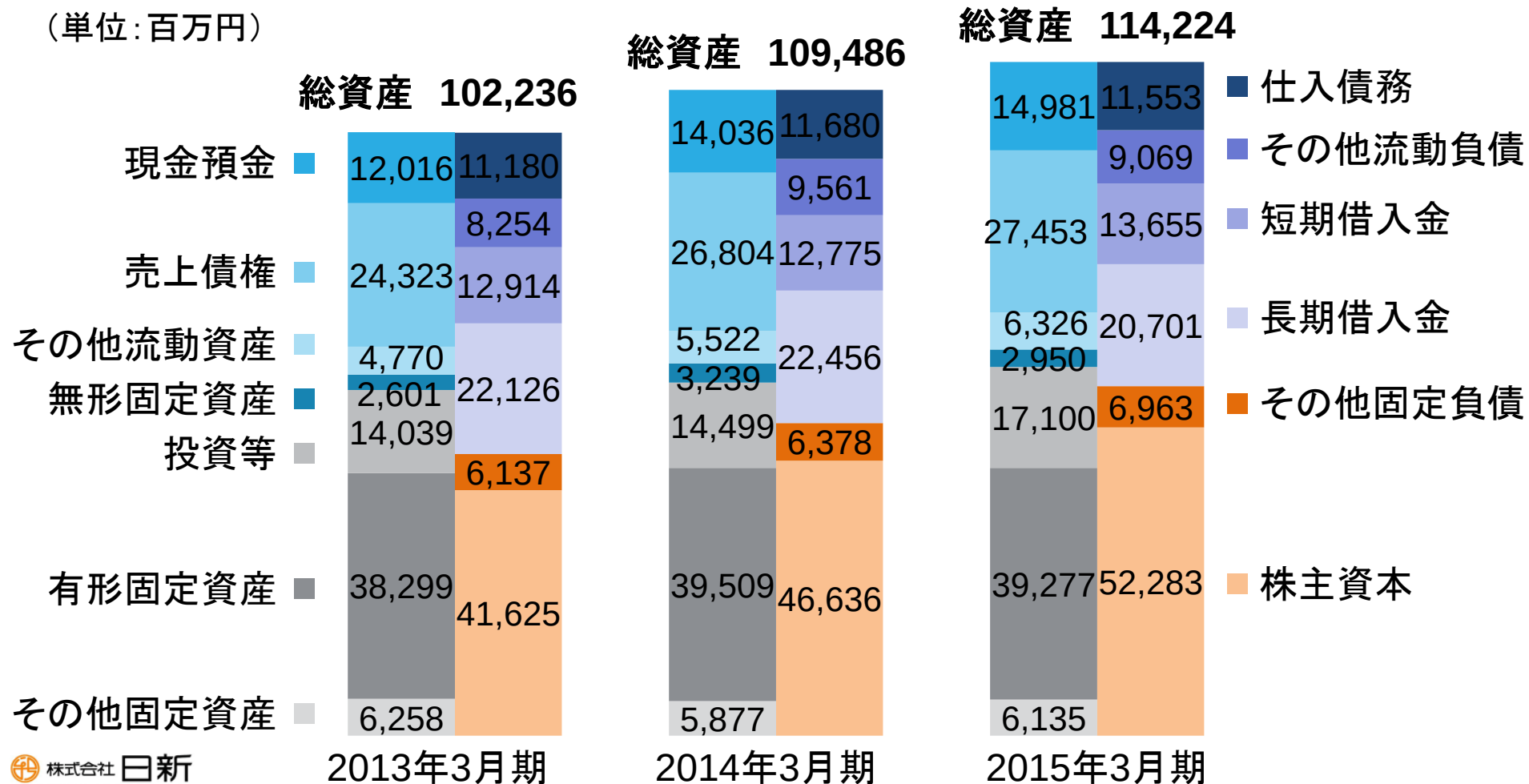
中期経営計画

- 中期経営計画最終年度は計画通りの推移を見込む

補足資料

2015年3月期 貸借対照表

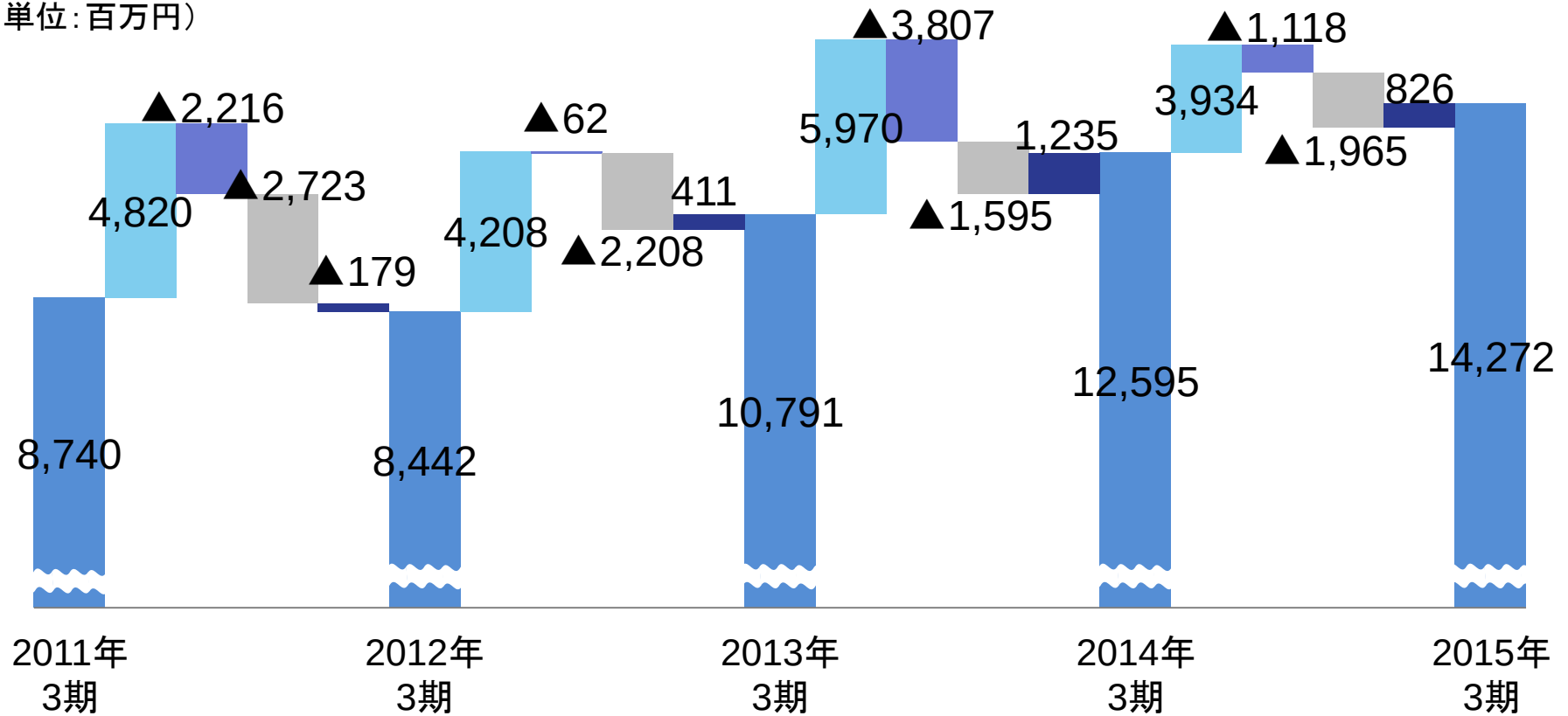
(単位:百万円)



2015年3月期 連結キャッシュフローの状況

■ 現金及び現金同等物期末残高 ■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー
■ 財務キャッシュフロー ■ 換算差額、他

(単位: 百万円)



※ 数値は、分かりやすく説明するための社内集計値

MEMO